取扱説明書

DAYTONA
R 60267①/②

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

COZY SEAT SC （セミコンプリート）	適応車種	商品NO.
	X4/LD(‘97～’04)	カーボン　60267

■ ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。	
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

⚠注意

実施	• この商品はスーパーウレタンと表皮だけの商品です。シートベースは純正の車体に付いていたものを使用します。張り替えは専門の業者等にご依頼願います。 • 純正シートベース専用です。(純正シートベースの形状に合わせて制作していますので、それ以外のシートベースには取り付け出来ません。) • 取り付け後約１００ｋｍ走行しましたら、各部を点検してネジ部等の増し締めを行なってください。その後は約５００ｋｍ毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行なってください。 • 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
その他	• この商品は、商品ラベルに記載されている適合車種以外の車輌には、使用しないでください。 • 作業に入る前に、必ず安全を確保した上で作業を行なってください。 • エアタッカーを使用の場合は、エアタッカーの取扱説明書をよく読み、安全を確保して作業を行なってください。 • エアタッカーを使用するときは、エア圧力の調整を規定の一番低い値に調整し、試し撃ちをしてから作業してください。圧力が高すぎたり表皮がシートベースから浮いていると、ステープルで表皮が切れやすくなります。 • この表皮はオートバイ装着時には充分な強度がありますが、張り替え作業をしている時などシートをぶつけたりすると表皮が破ける危険性があります。お取り扱いにご注意ください。 • 作業前に製品状態をご確認頂き、初期不良以外のクレーム及びそれに関わるご請求関連は一切お受けできませんので、予めご了承ください。 • この商品は、予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。予めご了承ください。

本商品の特徴

- 純正シートベース専用のスーパーウレタンと表皮のみのセミコンプリート商品。
- シート JOY との共同開発により、しっかりとしたストローク感がある一体成型のスーパーウレタンを採用し、長距離ツーリングでも疲れにくい乗り心地を確保。
- 独自の形状によりスポーツライディングにも対応でき、高い操縦性を確保。
- ノーマル比で約３０mmＤＯＷＮ。（ＬＤはノーマル比約２０mmＤＯＷＮ。）
- シート両サイドをカットして足つき性を向上。
- クッション性、伸びに対する耐久性と強度、そして対候性に優れるモーターサイクル専用シート表皮を採用。縫合部には水が浸みこみにくい処理がしてあります。(完全防水ではありません)また、ウレタンと表皮の間に純正メーカーで採用されているカバーを被せることにより、表皮から入った雨水がウレタンに浸み込んでいきにくいような効果があり、いつまでも表皮表面に水が出てくるのを防ぎます。

取付方法

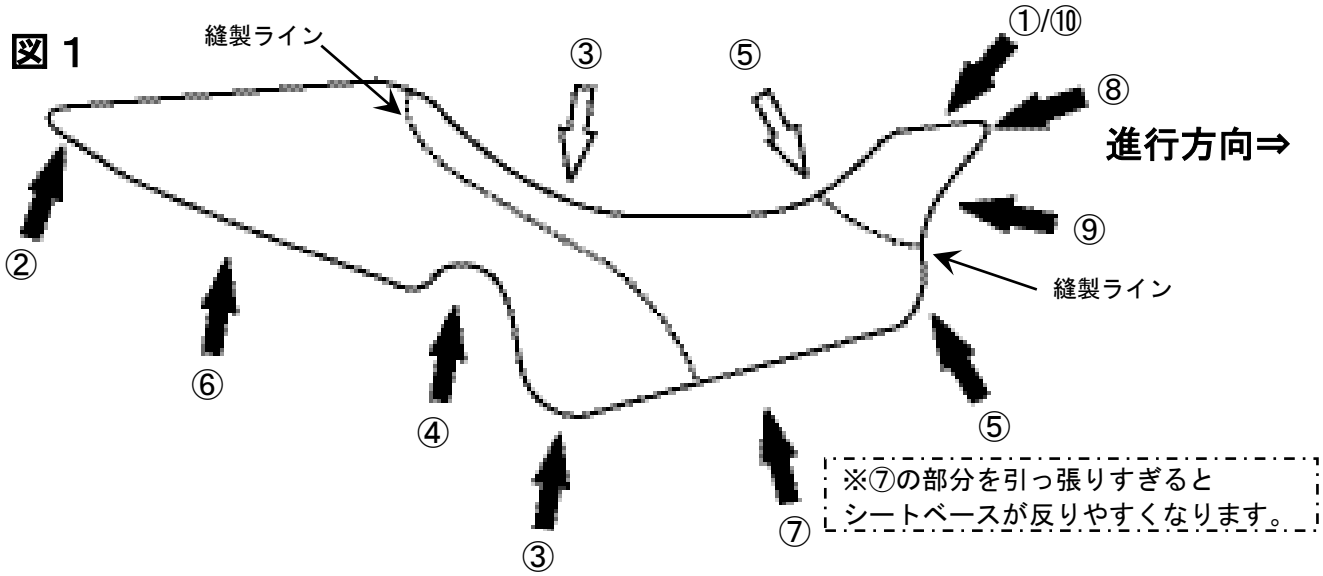
■組み付け時のポイント(これはあくまでも参考です。実際の作業は専門の業者にご依頼願います。)

1. 純正シートから表皮とウレタンを外してください。（この時、純正シートベースとウレタンをボンドで貼り付けている箇所を確認しておいてください。）
2. COZY　SEAT のスーパーウレタンに、ビニールのカバーをかぶせます。
3. 手順２でカバーをかぶせたスーパーウレタンを、純正シートベースに載せます。このときスーパーウレタンと純正シートベースをボンドで貼り付けます。目安としては純正シートの貼り付け部分の、倍ぐらいの箇所を貼り付けます。(剛性感が上がります。)
4. 表皮を引っ張りやすくする為、ドライヤー等で温めます。(作業中は常にドライヤーで表皮を暖めながら行なうとスムーズに行なえます。暖めすぎると表皮が溶ける場合がありますのでご注意ください。)
5. 表皮の前後を被せ表皮センターマーク（表皮の前と後ろに丸いキリカキがあります。）と、純正シートベースのセンターを合わせ、前側を最初にエアータッカーで仮止めします。(図１-①参照)
6. シート表皮の前後で表皮の種類が違うので、縫製ラインをシートの起伏に合わせ前後バランスを見ながら後ろ側をエアータッカーで仮止めします。(図１-②参照)
7. 表皮サイド部を仮止めします。この時、表皮サイドの両端を持ち、一度左右に引っ張っりそのまま下に降ろすような感覚で行ないます。(図１-③参照)
8. サイド部リアサスペンションの取り付く辺りの窪みの位置を合わせ、仮止めします。(図１-④参照)
9. 次に前側サイド部を仮止めします。表皮をドライヤーで暖め、片方ずつ両手の親指で押し伸ばしながら、表皮をシートベースの突起部分にかぶせて折り返し、仮止めします。反対側も同様に行ないます。このとき縫製ラインのバランスを考えて仮止めをするようにしてください。(図１-⑤参照)
   ※この部分の表皮は短めになっていますが、使用時にシワが出にくいように表皮を引っ張ることを前提に、デザインされています。ドライヤーで暖めると、簡単に引っ張ることが出来ます。
10. 図１の番号順に仮止めしていきます。(表皮を引っ張りすぎるとシートベースが反り、車体との隙間が大きくなりますが、引っ張りが弱いと、表皮にシワが出来たりごわついたりしますので、シートベースが反らないぎりぎりのところまで表皮を引っ張るようにしてください。※コツは車体に合わせながらシートが反らないぎりぎりの所まで表皮を引っ張ることです。)
11. 仮止めが終わりましたら、もう一度車体に合わせてみて、シートベースが表皮に引っ張られて反っていないか確かめます。(シートベースが反っている場合は、表皮を引っ張りすぎています。反りに影響がある部分の仮止めを一度外しドライヤーで再度表皮を暖めてから仮止めします。)確認後タッカーを全周均等に打っていきます。表皮が余り、車両への取り付けに影響がある場合は、余っている所を切り取ってください。
12. 表面にシワがない事、確実に取り付けが出来ていることを確認し終了です。

※お近くに表皮張り替えの専門業者がない場合は、下記ショップでも行なうことが出来ますのでご相談ください。

㈱茗荷シート	〒432-8047	静岡県浜松市中区神田町 124 番地	TEL053-441-0017
シート JOY	〒432-8013	静岡県浜松市中区広沢 2-48-20	TEL053-454-8530

図 1



東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ 〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: https://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで